

新宿区次世代育成支援に関する調査報告書 概要版

新宿区では、「子育てしやすいまち」の実現を目指し、平成 21 年度には、新たな「次世代育成支援計画（後期計画）」を策定する予定です。後期計画の策定に向けて、区民の皆様の子育てに関する状況やご意見ご要望を把握するために「次世代育成支援に関する調査」を実施しました。ここに、調査結果の一部をご紹介します。

調査の概要

調査設計	標本抽出	住民基本台帳から年齢別に無作為抽出
	調査方法	郵送配布 - 郵送回収法
	調査期間	平成 20 年 11 月 17 日（月）～ 12 月 1 日（月）

調査対象	1 就学前児童の保護者調査	区内在住の就学前児童の保護者
	2 小学生の保護者調査	区内在住の小学校 1 年生から小学校 6 年生の保護者
	3 中学生の保護者調査	区内在住の中学校 1 年生から中学校 3 年生の保護者
	4 中学生の日常生活と意識に関するアンケート	区内在住の中学校 1 年生から中学校 3 年生
	5 青少年の日常生活と意識に関する調査	区内在住の 15 歳から 17 歳までの男女
	6 少子社会に関する調査	区内在住の 18 歳から 34 歳までの男女

平成 20 年 10 月 1 日現在

	対象者数	有効回収数	有効回収率
1 就学前児童の保護者調査	1,500	920	61.3%
2 小学生の保護者調査	1,500	924	61.6%
3 中学生の保護者調査	300	190	63.3%
4 中学生の日常生活と意識に関するアンケート	300	151	50.3%
5 青少年の日常生活と意識に関する調査	300	113	37.7%
6 少子社会に関する調査	1,100	249	22.6%
合計	5,000	2,547	50.9%

報告書の見方

- 1 図表の中の n とは該当質問の回答者数を表しています。
- 2 本文、図表中の百分率（%）は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が 100 にならない場合があります。
- 3 図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合があります。

就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者調査の結果

1 子どもと家族の状況について

1 子どもと家族の状況

就学前児童

小学生

中学生保護者

きょうだいの数 就学前児童は「1人」43.9%、「2人」42.9%。

小学生は「1人」25.1%、「2人」51.6%。

中学生は「1人」、「2人」が54.2%。

家族 就学前児童は、両親同居家族が87.0%、ひとり親家庭が4.1%、
祖父母同居が11.7%。

小学生は、両親同居家族が82.3%、ひとり親家庭が7.9%、
祖父母同居が14.2%。

中学生は、両親同居家族が77.9%、ひとり親家庭が16.8%、
祖父母同居が16.8%。

主に世話をしている保護者の就労状況

就学前児童は「就労している」が38.8%。

小学生は「就労している」が54.9%。

中学生は「就労している」が68.9%。

2 子育てについて

1 子育ての楽しさ

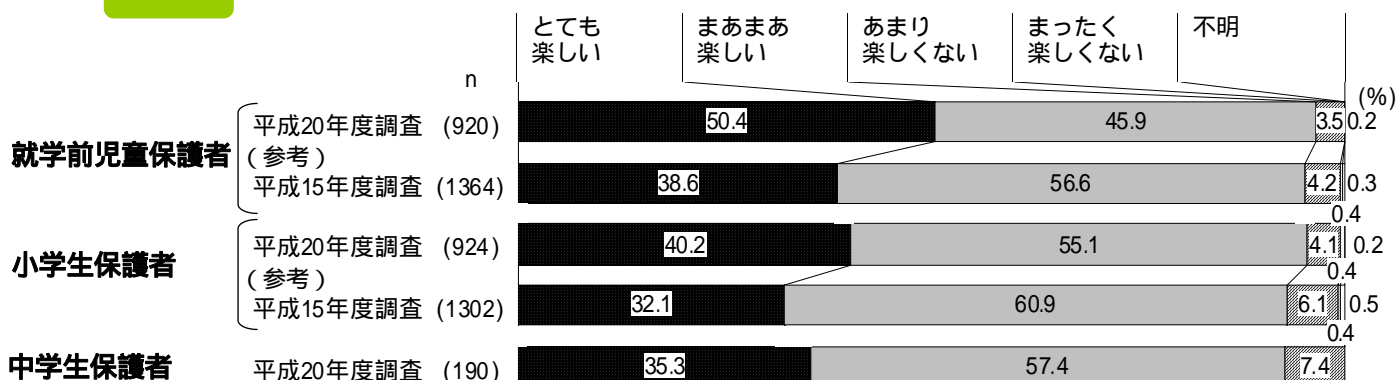
就学前児童

小学生

中学生保護者

子育てを「とても楽しい」と思っている保護者は、就学前児童では50.4%、小学生では40.2%、中学生では35.3%となっています。

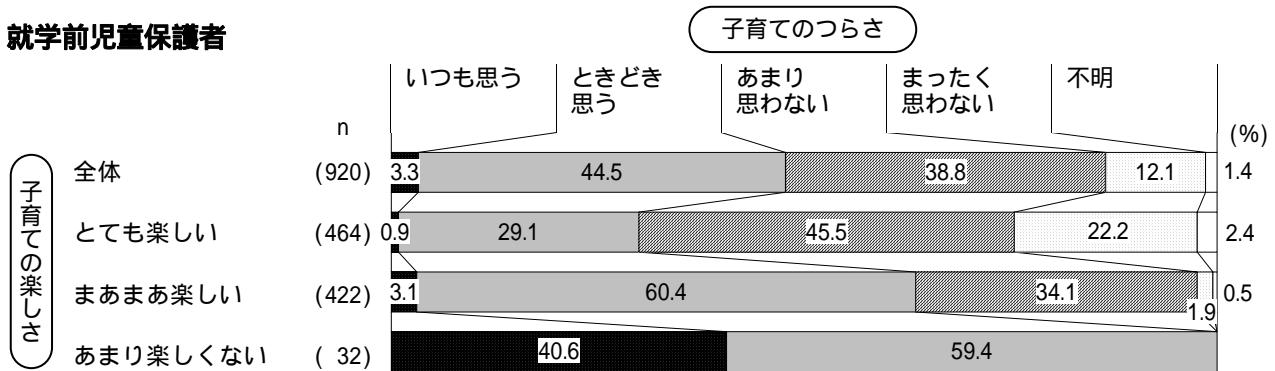
図表1



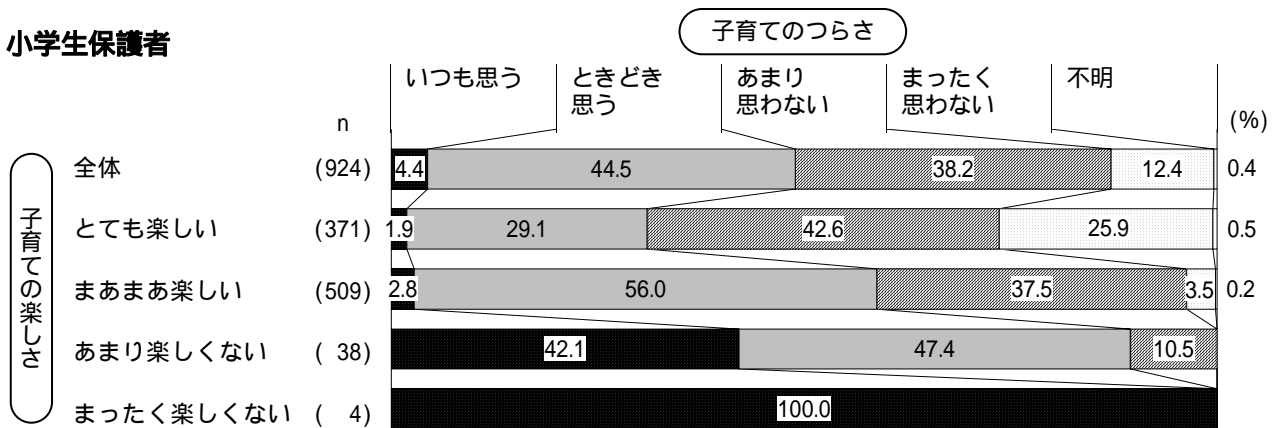
子育てがつらいと「いつも思う」という保護者は、就学前児童では 3.3%、小学生では 4.4%、中学生では 5.3%となっています。

図表2 子育ての楽しさとのクロス集計

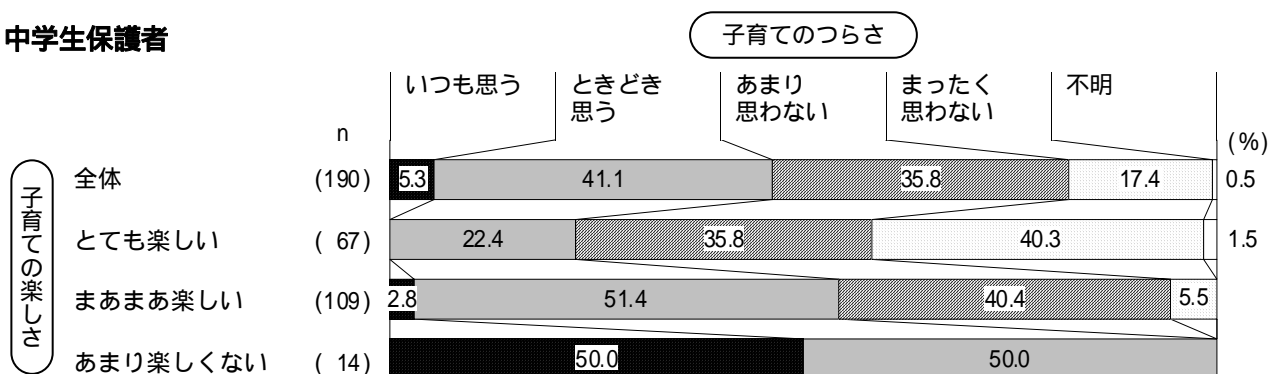
就学前児童保護者



小学生保護者



中学生保護者



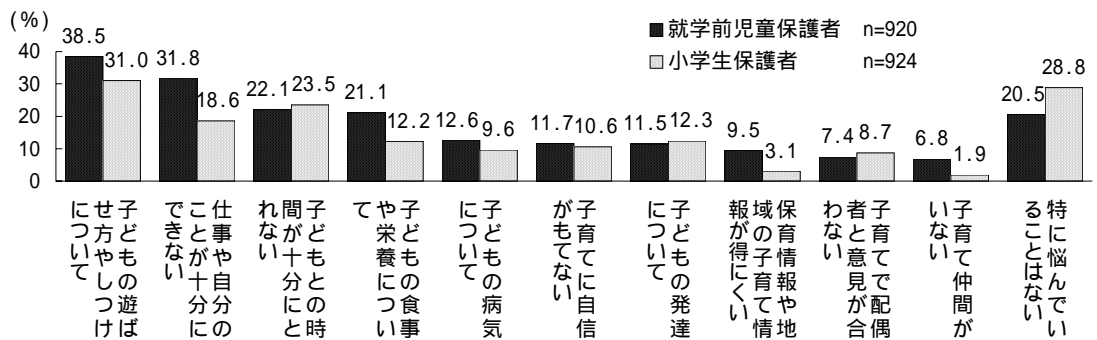
子育ての悩みは、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が最も多くなっています。就学前児童保護者では、次に「仕事や自分のことが十分にできない」が31.8%で続いています。

中学生保護者では、「進路や進学のこと」が55.3%で最も多く、次に「日常生活のしつけや生活習慣に関すること」(36.3%)、「学習・授業の進捗のこと」(32.6%)の順に続いています。悩みの相談先は、「配偶者(夫、妻)」が66.8%、「近所の友人・知人」が48.4%となっています。

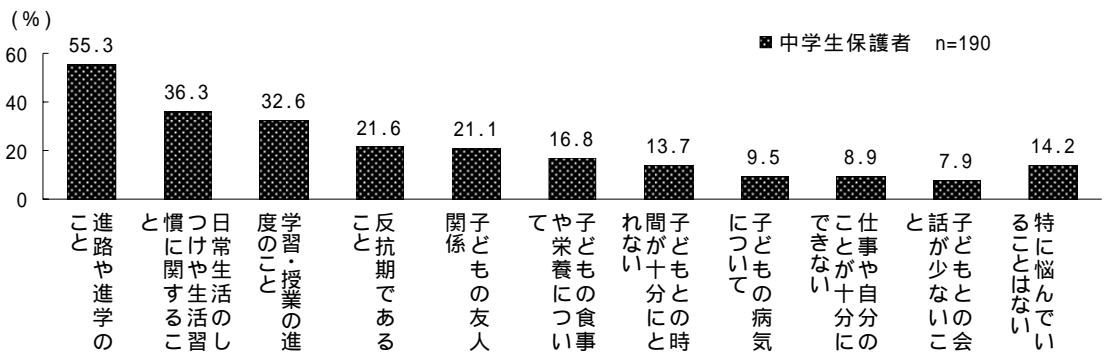
図表3 (複数回答、上位10項目および「特に悩んでいることはない」)

就学前児童保護者

小学生保護者



中学生保護者



3 地域での子育て支援について

1 子育て仲間について

就学前児童

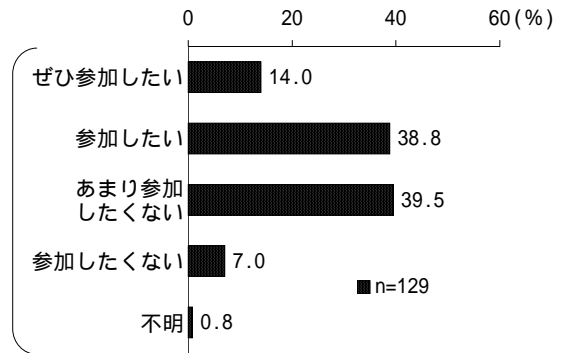
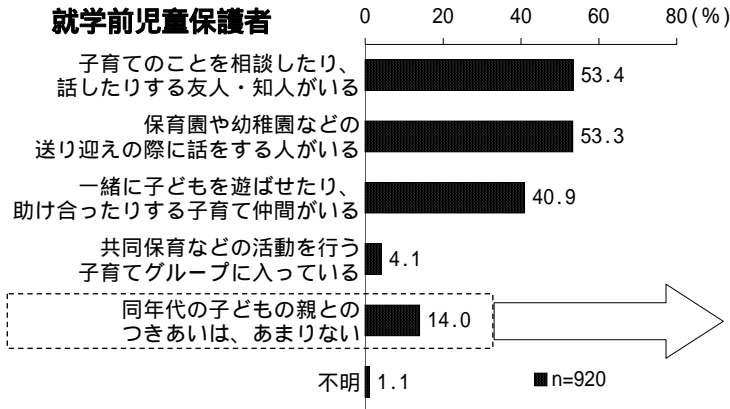
小学生

子育て仲間について、「子育てのことを相談したり、話したりする友人・知人がいる」は就学前児童保護者では53.4%、小学生保護者では55.3%、「PTAや保育園・幼稚園時代からの同世代の子どもを持つ子育て仲間がいる」が小学生保護者で73.9%となっています。

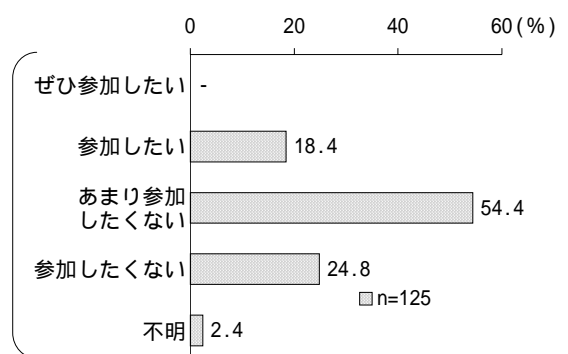
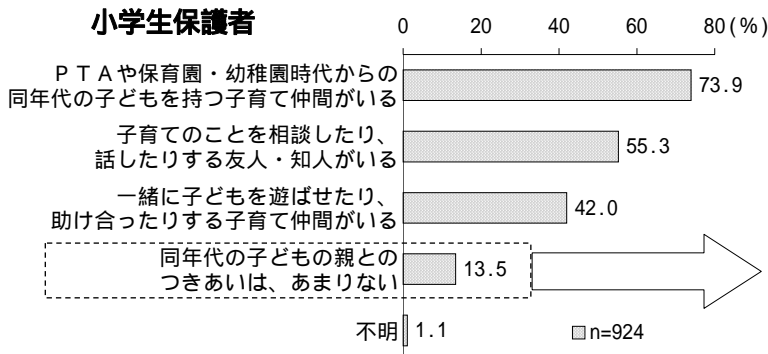
図表4 子育て仲間の有無（複数回答）

図表5 仲間づくりの機会への参加意向

就学前児童保護者



小学生保護者



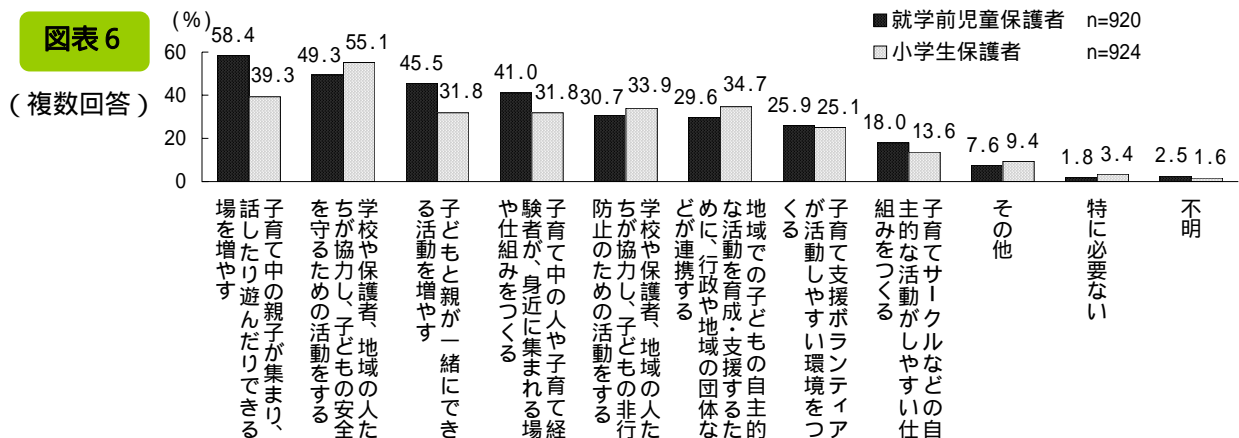
2 安心して子育てするために地域で必要だと思う取り組み

就学前児童

小学生

安心して子育てするために地域で必要だと思う取り組みは、就学前児童保護者では「子育て中の親子が集まり、話したり遊んだりできる場を増やす」が58.4%、小学生保護者では「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全を守るための活動をする」が55.1%で最も多くなっています。

図表6



4 子どもの遊び場や外出環境について

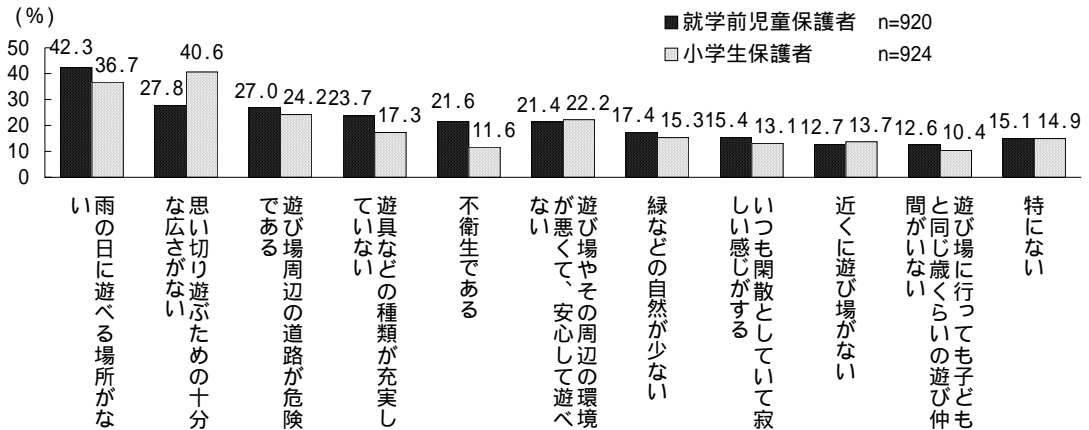
1 子どもの遊び場で困っていること

就学前児童

小学生

子どもの遊び場で困っていることは、就学前児童保護者では「雨の日に遊べる場所がない」が42.3%、小学生保護者では「思い切り遊ぶための十分な広さがない」が40.6%で最も多くなっています。

図表7 (複数回答、上位10項目および「特になし」)



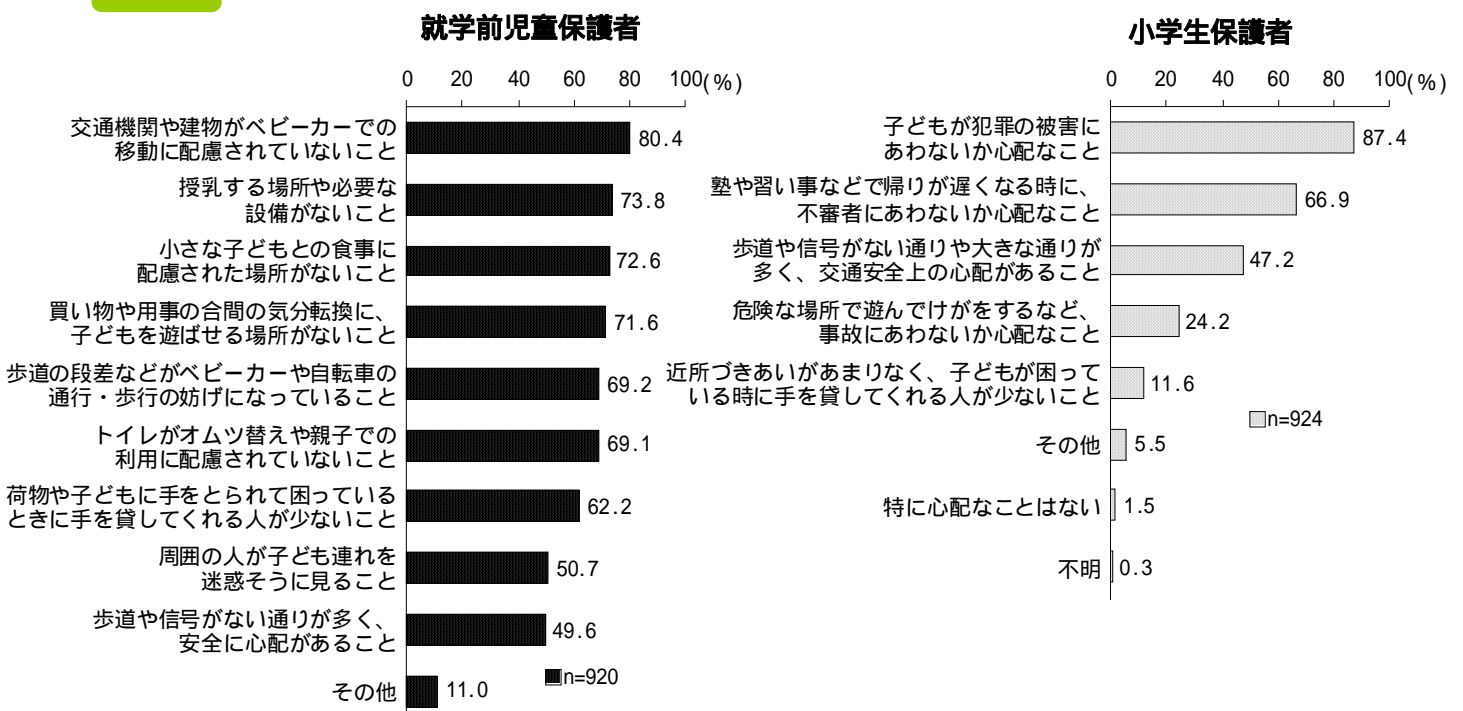
2 子どもと外出/子どもがひとりで外出している時に心配なこと

就学前児童

小学生

子どもと外出/子どもがひとりで外出している時に心配なことは、就学前児童保護者では「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が80.4%、小学生保護者では「子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」が87.4%で最も多くなっています。

図表8 (複数回答)



5 子どもの健康について

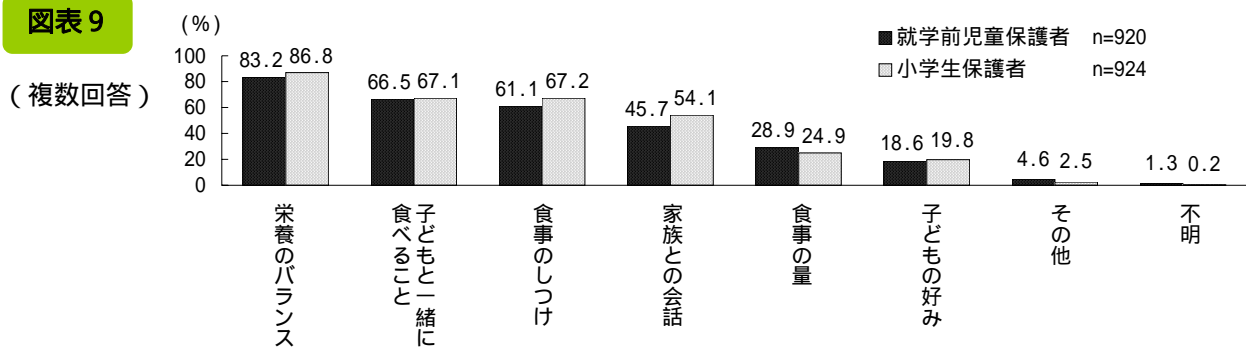
1 子どもの食事で大切にしていること

就学前児童

小学生

子どもの食事で大切にしていることは、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「栄養のバランス」が最も多くなっています。

図表 9



6 子育てと仕事への関わり方について

1 主に子どもの世話をしている保護者の職場にある子育て支援施策

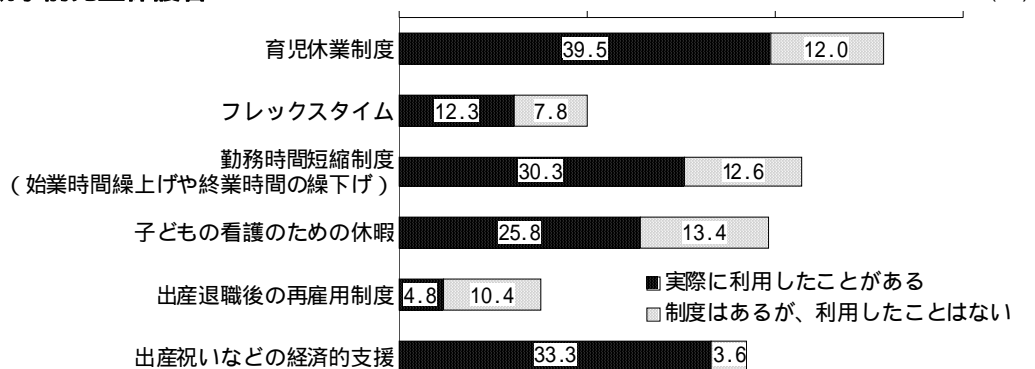
就学前児童

小学生

主に子どもの世話をしている保護者の職場にある子育て支援施策のうち、「実際に利用したことがある」制度として、育児休業制度が就学前児童保護者（39.5%）、小学生保護者（21.1%）とともに最も多くなっています。そのほか、出産祝いなどの経済的支援や勤務時間短縮制度（始業時間繰上げや終業時間の繰下げ）も「実際に利用したことがある」が多くなっています。

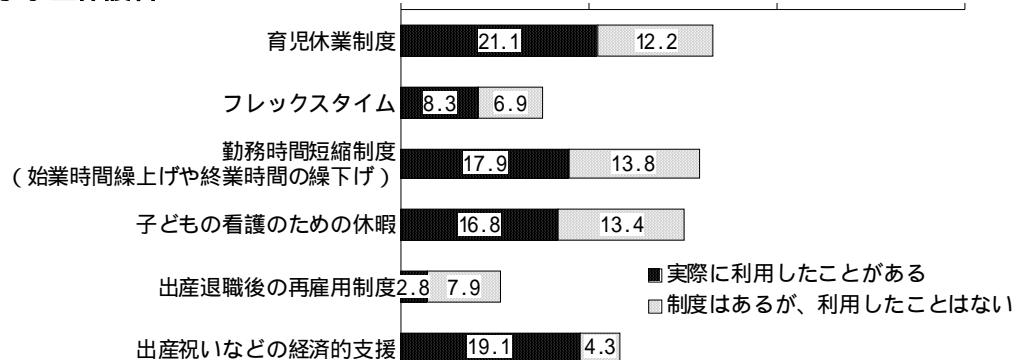
図表 10 就学前児童保護者

n=375 0 20 40 60 (%)



小学生保護者

n=507 0 20 40 60 (%)



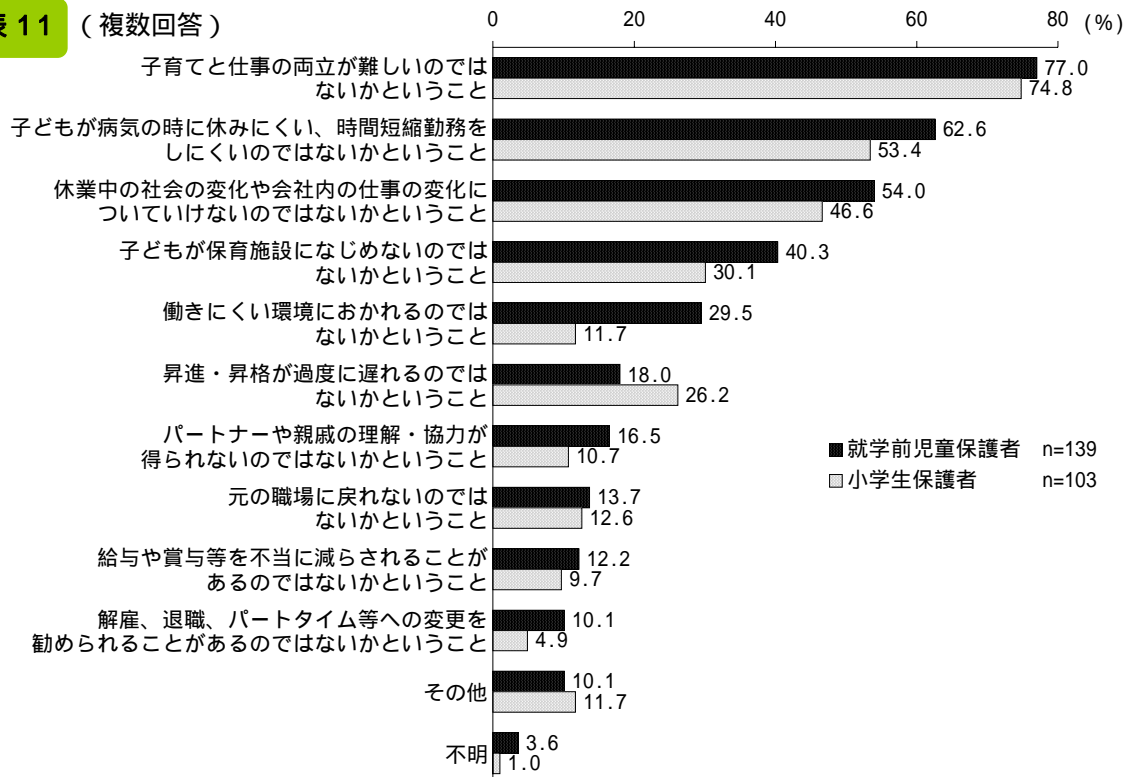
2 育児休業から仕事に復帰するときの心配ごと

就学前児童

小学生

育児休業から仕事に復帰するときの心配ごとは、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「子育てと仕事の両立が難しいのではないかと」ということが最も多くなっています。

図表 11 (複数回答)



3 家事や子育てへの関わり

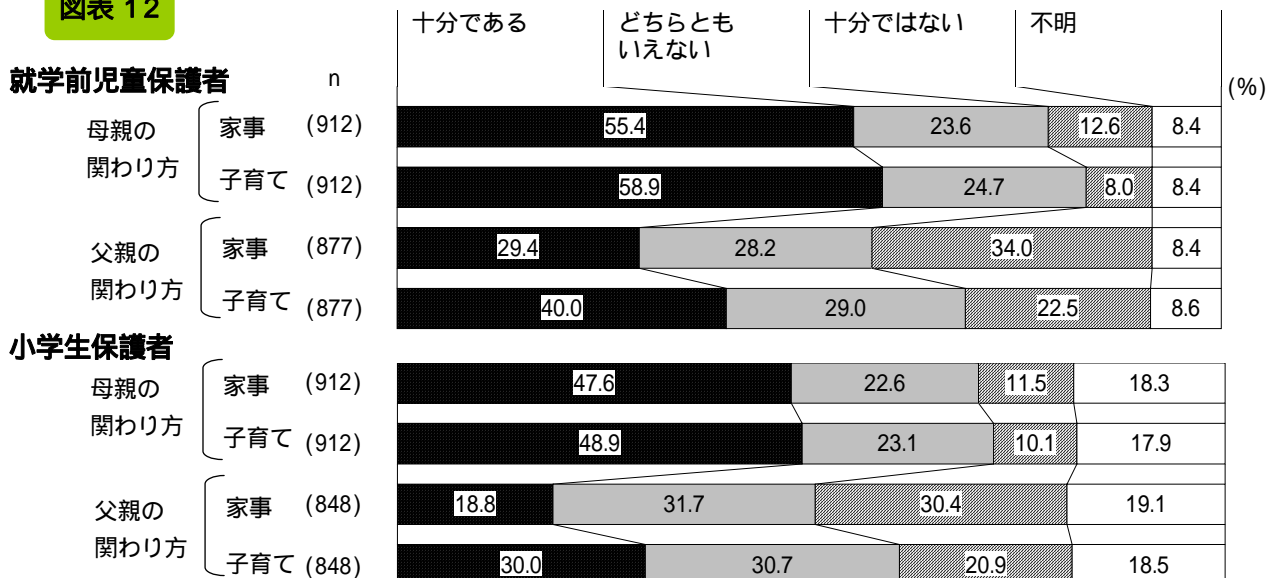
就学前児童

小学生

中学生保護者

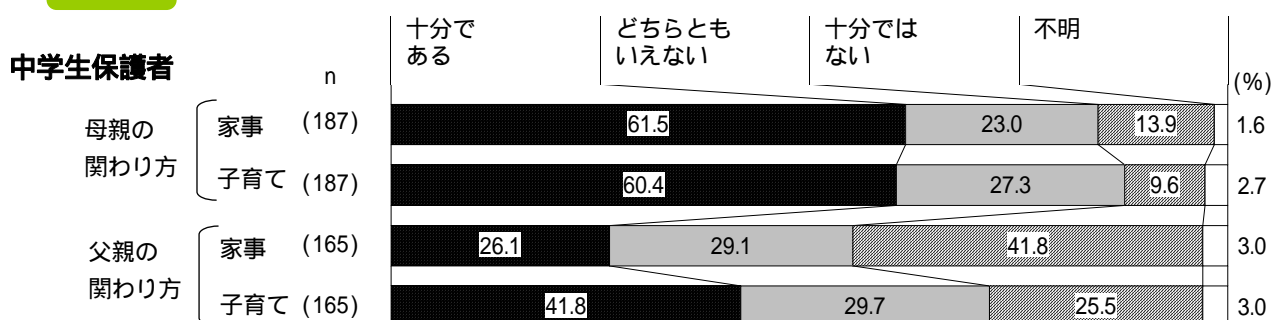
家事や子育てへの関わりについて、就学前児童保護者では、母親の関わり方は「十分である」が家事(55.4%)、子育て(58.9%)とも5割を超えています。父親の関わり方は家事(29.4%)、子育て(40.0%)となっています。小学生保護者では、母親の関わり方は「十分である」が家事(47.6%)、子育て(48.9%)、父親の関わり方は家事(18.8%)、子育て(30.0%)となっています。

図表 12



中学生保護者では、母親の関わり方について、「十分である」は家事（61.5%）、子育て（60.4%）ともに6割を超えていますが、父親の関わり方は家事で26.1%、子育てで41.8%となっています。

図表 13

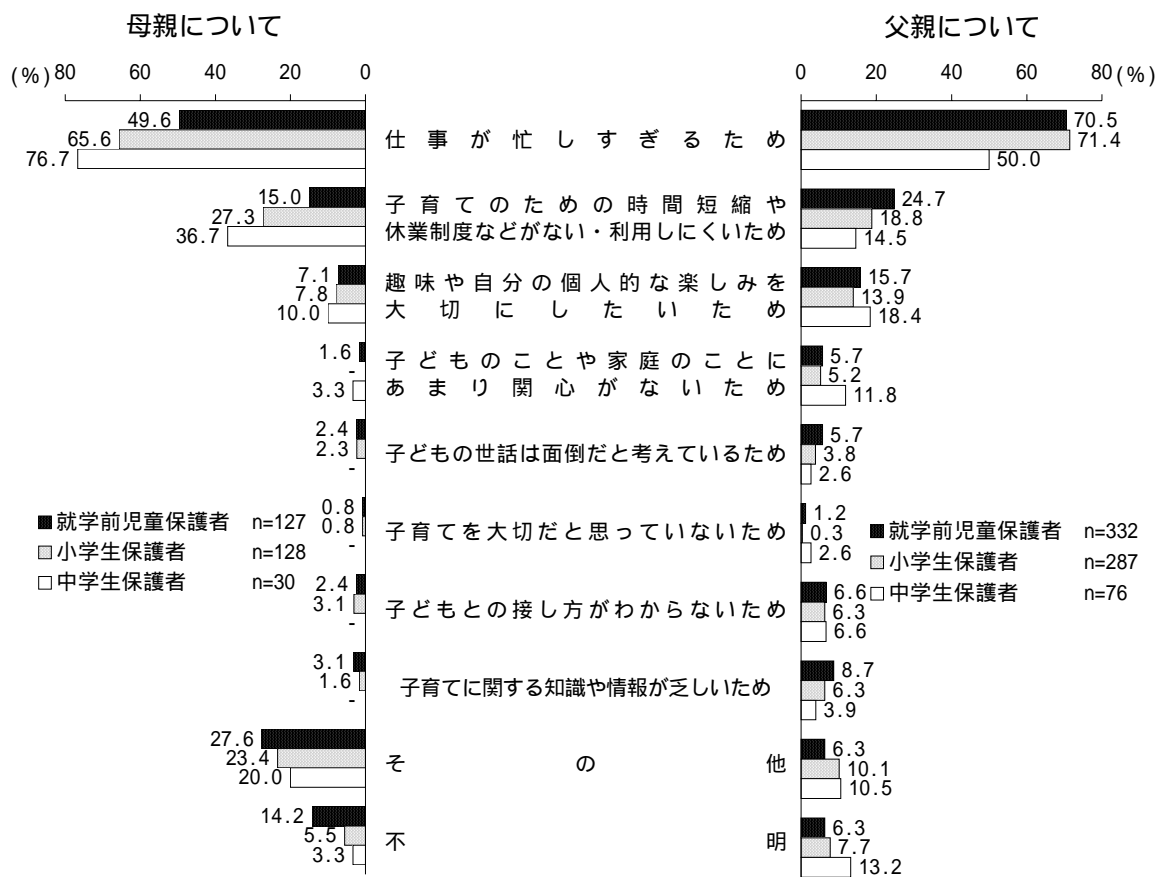


4 家事や子育てへの関わりが十分でない理由

就学前児童 小学生 中学生保護者

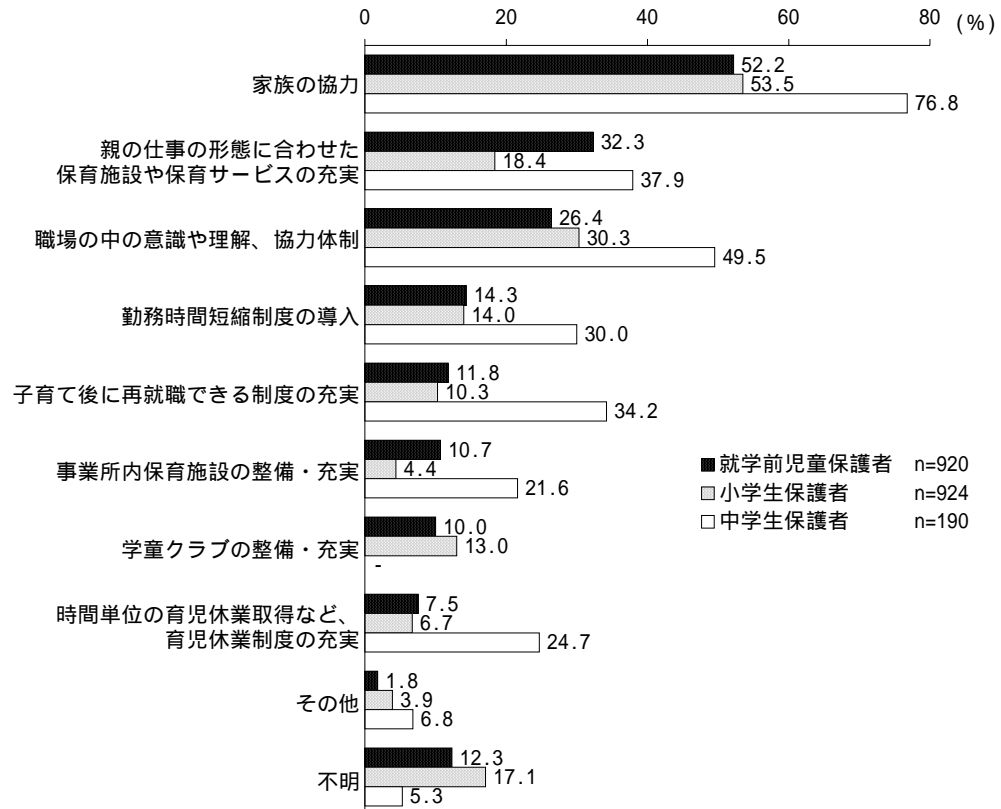
家事や子育てへの関わりが十分でない理由は、母親、父親ともに「仕事が忙しすぎるため」が最も多くなっています。次に、母親については、小学生保護者と中学生保護者で「子育てのための時間短縮や休業制度などが無い・利用しにくい」が多くなっています。父親については就学前児童保護者で「子育てのための時間短縮や休業制度などが無い・利用しにくい」が比較的が多くなっています。

図表 14 (複数回答)



仕事と子育ての両立のために必要なことは、「家族の協力」が就学前児童保護者で52.2%、小学生保護者で53.5%、中学生保護者で76.8%と特に多くなっています。次に、就学前児童保護者では「親の仕事の形態に合わせた保育施設や保育サービスの充実」(32.3%)、小学生保護者と中学生保護者では「職場の中の意識や理解、協力体制」(30.3%、49.5%)が続いています。

図表 15 (複数回答)



7 新宿区の子育て環境について

1 新宿区の子育て環境評価

就学前児童

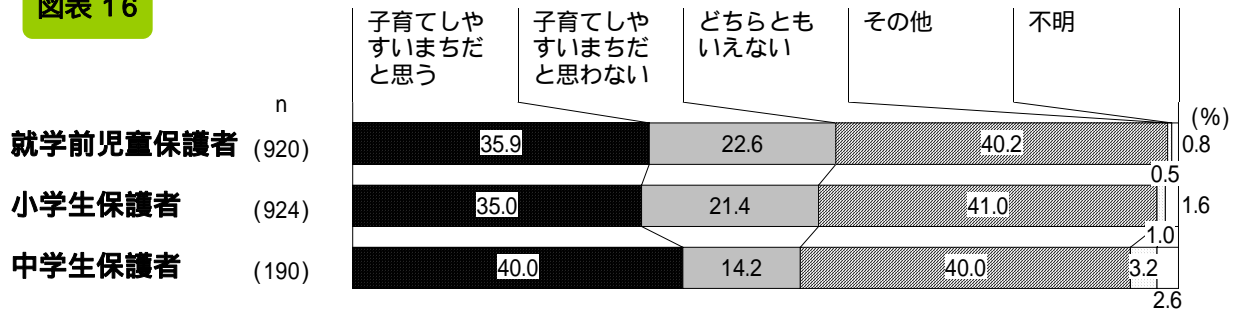
小学生

中学生保護者

新宿区が「子育てしやすいまちだと思ふ」は就学前児童保護者で 35.9%、小学生保護者で 35.0%、中学生保護者で 40.0%です。その理由は、「交通機関が便利である」が最も多くなっています。

一方、子育てしやすいまちだと思わない理由は「自然環境が良くない」、「事故や犯罪が多く危険を感じる」、「公園や児童館など子どもの居場所が少ない」などが多くなっています。

図表 16

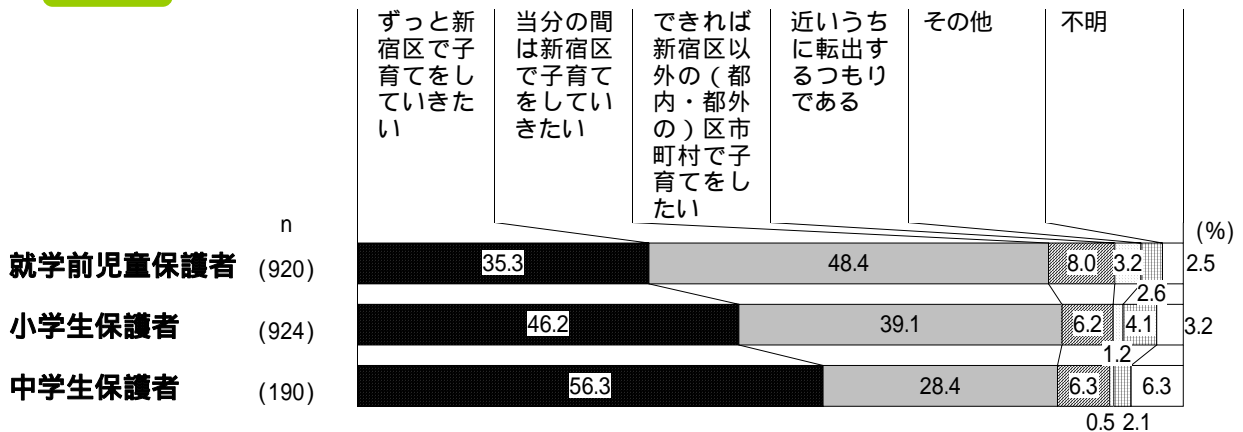


図表 17 子育てしやすいまちだと思ふ理由（複数回答）

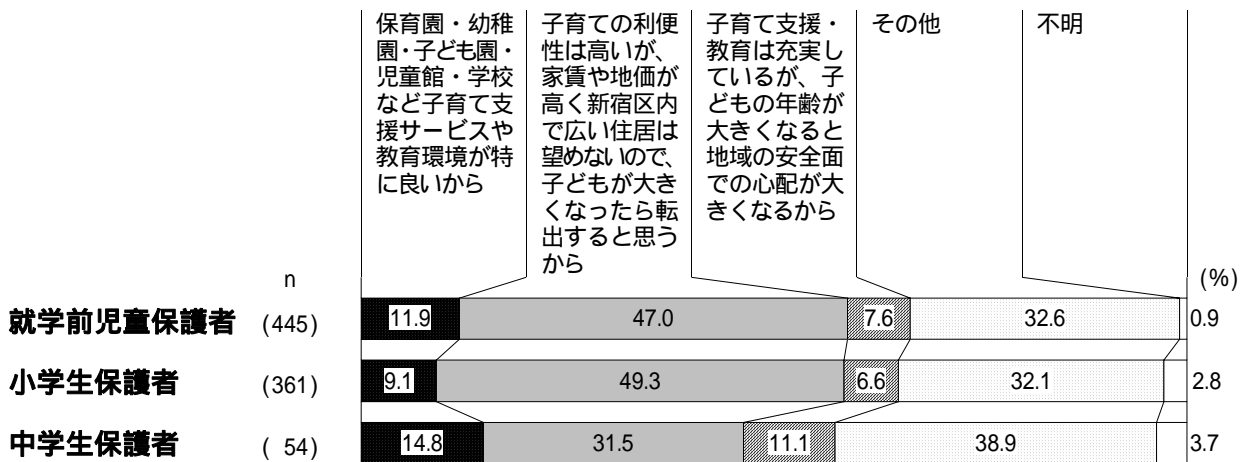
順位	就学前児童保護者 n=330	小学生保護者 n=323	中学生保護者 n=76
1	交通機関が便利である 231人	交通機関が便利である 238人	交通機関が便利である 63人
2	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 155人	職場と住居が近い 120人	学校の教育環境が良い 36人
3	保育園、幼稚園などが利用しやすい 133人	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 118人	図書館や体育館・グラウンドなどの公共施設が利用しやすい 29人
4	職場と住居が近い 104人	住環境が良い 108人	職場と住居が近い 24人
5	住環境が良い 85人	保育園、幼稚園などが利用しやすい 101人	住環境が良い 19人
6	保育サービスが充実している 77人	近所づきあいや地域活動が盛んである 84人	公園や児童館など子どもの居場所が多い 15人
7	子育てに関する情報を得やすい 74人	子育てに関する情報を得やすい 63人	近所づきあいや地域活動が盛んである 13人
8	自然環境が良い 66人	自然環境が良い 62人	自然環境が良い 9人
9	近所づきあいや地域活動が盛んである 46人	保育サービスが充実している 51人	子育てに関する情報を得やすい 8人
10	地域の子育てネットワークができている 31人	地域の子育てネットワークができている 23人	地域の子育てネットワークができている 4人
11	事故や犯罪が少ない 15人	事故や犯罪が少ない 23人	事故や犯罪が少ない 4人
12	その他 32人	その他 42人	その他 6人

「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」は就学前児童保護者で 35.3%、小学生保護者で 46.2%、中学生保護者で 56.3%となっています。「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」は就学前児童保護者で 48.4%、小学生保護者で 39.1%、中学生保護者で 28.4%となっており、その理由は、「子育ての利便性は高いが、家賃や地価が高く新宿区内で広い住居は望めないなので、子どもが大きくなったら転出すると思うから」が就学前児童保護者、小学生保護者で半数近く、中学生保護者では 31.5%となっています。

図表 18



図表 19 当分の間だけ新宿区で子育てをしていきたいと思う理由



8 子どもを守る仕組みについて

1 子どもの虐待やいじめなどを解決するために必要なこと 就学前児童 小学生 中学生保護者

子どもの虐待やいじめなどを解決するために必要なことは、就学前児童保護者、小学生保護者、中学生保護者で「大人が日常生活の中で、子どもの意見をよく聞くよう心がけること」、「命の大切さについて親子で話し合うこと」が8割以上と多くなっています。

図表 20

就学前児童保護者

n=920

大人が日常生活の中で、子どもの意見をよく聞くよう心がけること

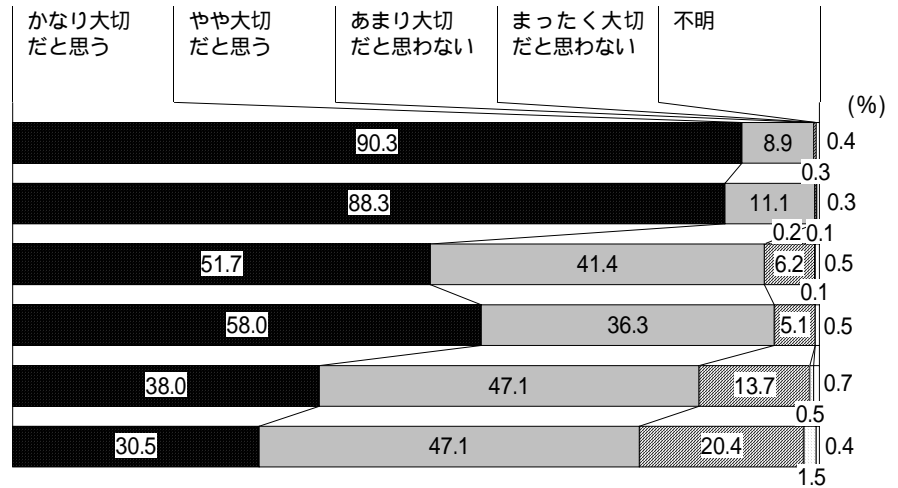
命の大切さについて親子で話し合うこと

子どもが安心して相談できる窓口を充実させること

子どもの虐待やいじめの防止について、多くの人に呼びかけること

子どもの権利についての普及・啓発を行うこと

子どもの権利に関する条例や憲章などをつくること



小学生保護者

n=924

大人が日常生活の中で、子どもの意見をよく聞くよう心がけること

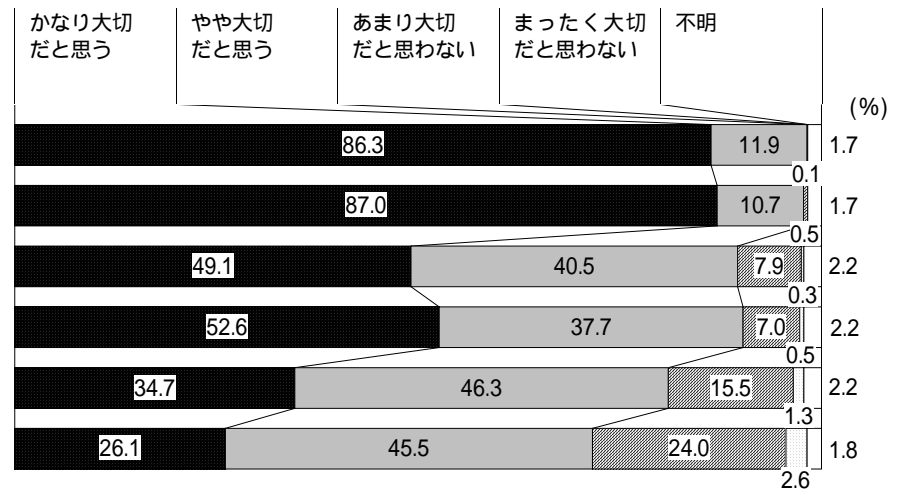
命の大切さについて親子で話し合うこと

子どもが安心して相談できる窓口を充実させること

子どもの虐待やいじめの防止について、多くの人に呼びかけること

子どもの権利についての普及・啓発を行うこと

子どもの権利に関する条例や憲章などをつくること



中学生保護者

n=190

大人が日常生活の中で、子どもの意見をよく聞くよう心がけること

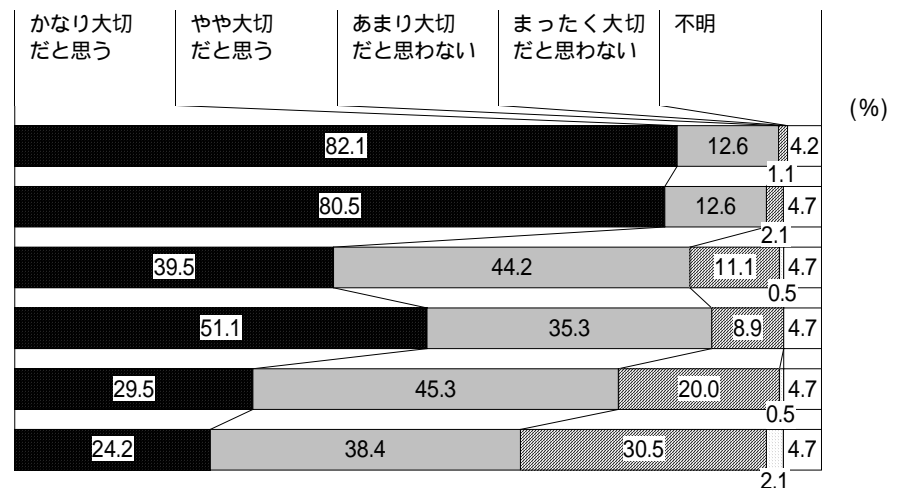
命の大切さについて親子で話し合うこと

子どもが安心して相談できる窓口を充実させること

子どもの虐待やいじめの防止について、多くの人に呼びかけること

子どもの権利についての普及・啓発を行うこと

子どもの権利に関する条例や憲章などをつくること



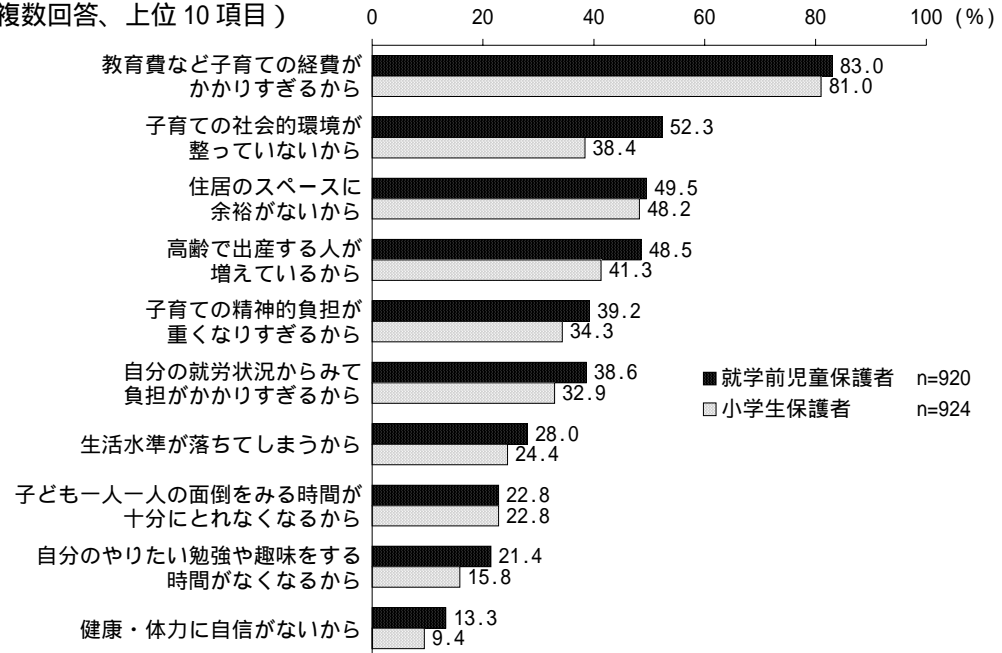
1 子どもの数の理想と現実には差がある原因

就学前児童

小学生

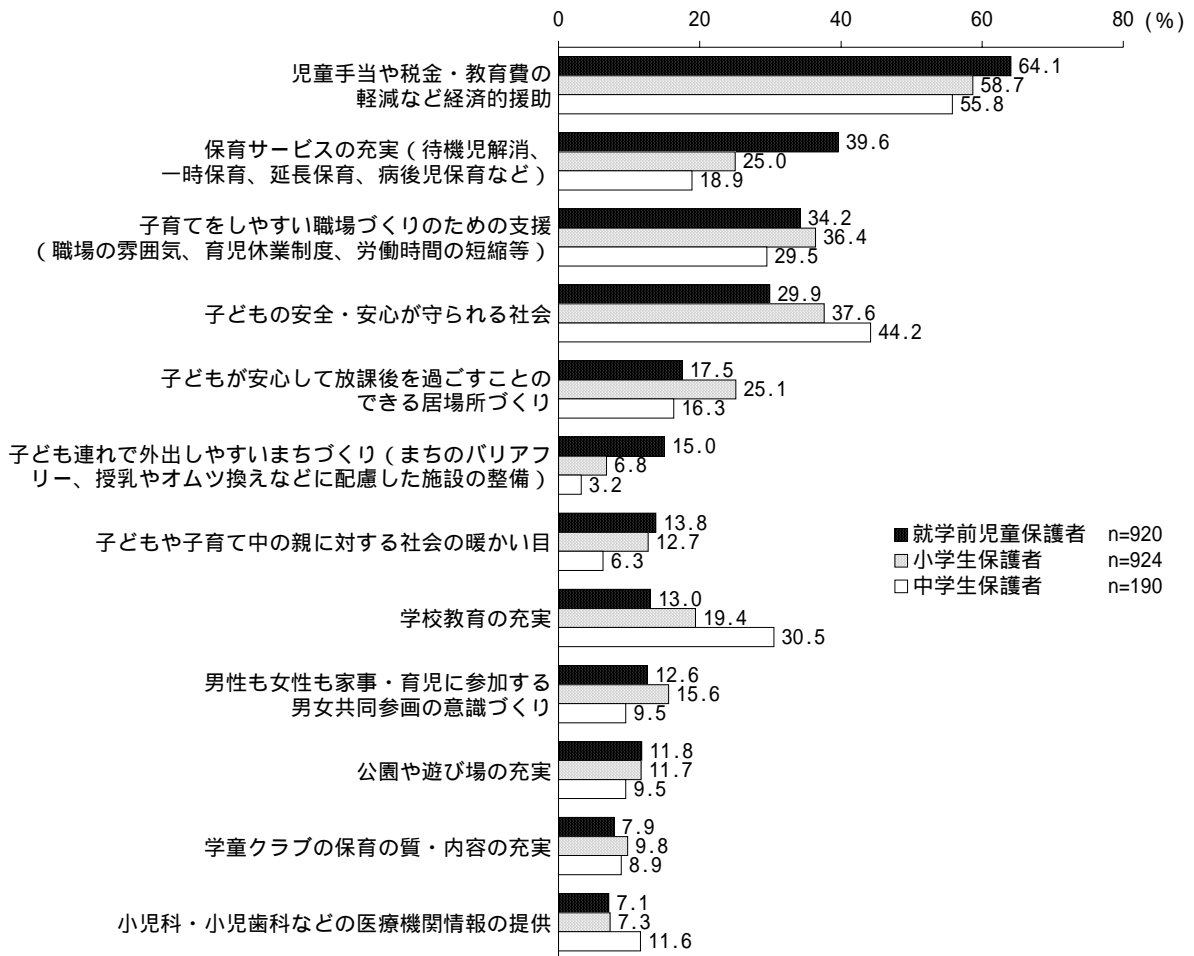
子どもの数の理想と現実には差がある原因は、就学前児童保護者、小学生保護者ともに「教育費など子育ての経費がかかりすぎるから」が最も多くなっています。就学前児童保護者では、次に「子育ての社会的環境が整っていないから」が52.3%で続いています。

図表 21 (複数回答、上位10項目)



子どもを育てやすい社会に必要なことは、就学前児童保護者、小学生保護者、中学生保護者すべてで「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が最も多くなっています。次に、就学前児童保護者では「保育サービスの充実（待機児解消、一時保育、延長保育、病後児保育など）」が39.6%、小学生保護者と中学生保護者では「子どもの安全・安心が守られる社会」（37.6%、44.2%）で続いています。

図表 22 （複数回答、上位12項目）



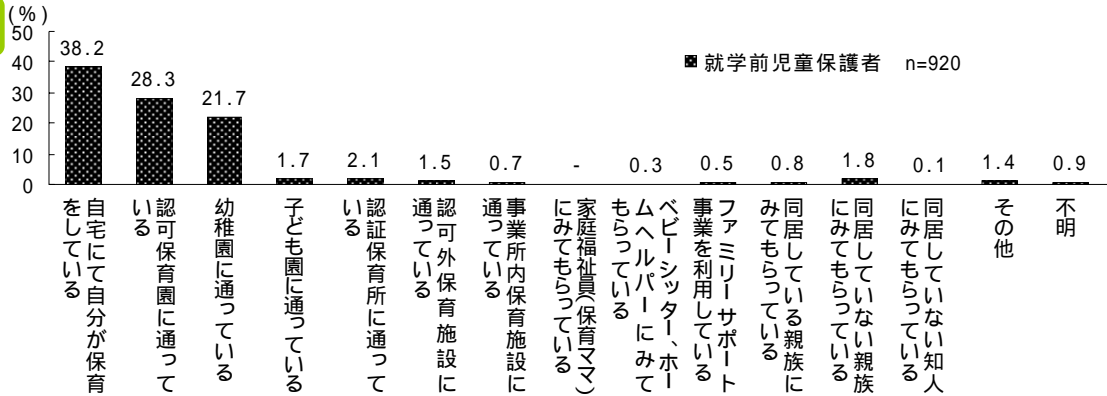
10 保育サービス等の利用について

1 保育状況（現状）

就学前児童

就学前児童保護者の、平日の児童の保育状況は、「自宅にて自分が保育をしている」が38.2%、「認可保育園に通っている」が28.3%、「幼稚園に通っている」が21.7%となっています。

図表 23

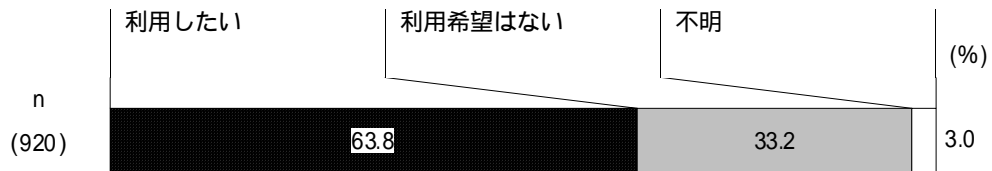


2 利用意向

就学前児童

就学前児童保護者の、平日の保育サービスは、「利用したい」が63.8%となっています。その内訳は、「認可保育園」が54.7%、「幼稚園」が16.9%、「子ども園」が16.2%となっており、保育時間は「7～10時間未満」が34.2%と最も多くなっています。

図表 24



11 就学後の放課後の過ごし方について

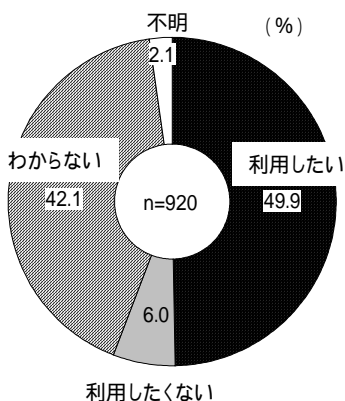
1 放課後子どもひろばの利用意向・放課後の居場所の希望

就学前児童

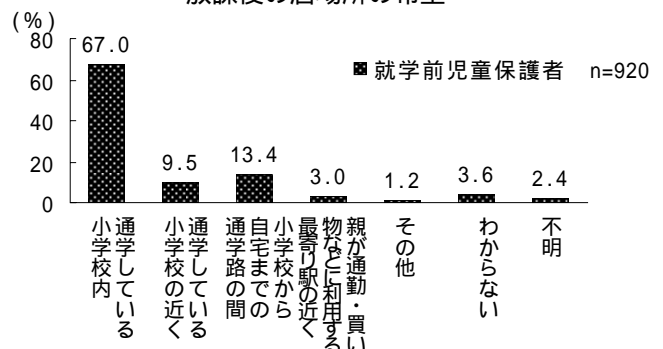
就学前児童保護者の、子どもの就学後の放課後子どもひろばの利用については、「利用したい」が49.9%、「わからない」が42.1%となっている。

放課後の居場所の希望については、「通学している小学校内」が67.0%となっている。

図表 25 放課後子どもひろばの利用意向



放課後の居場所の希望



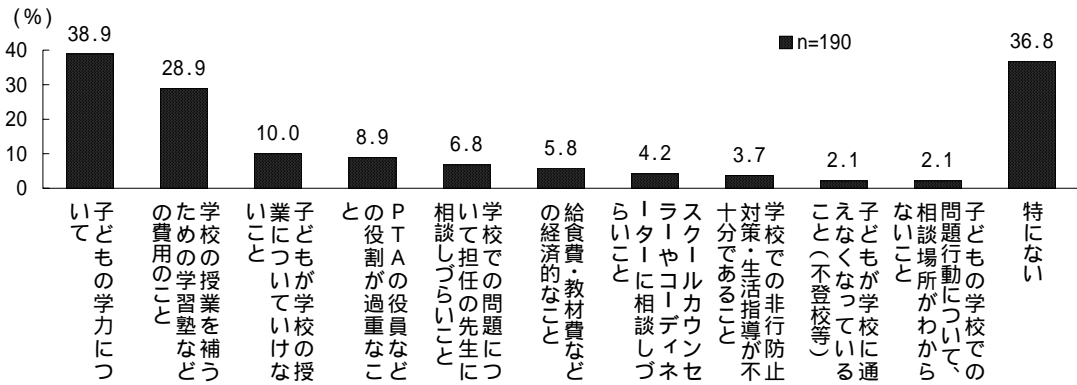
3 子どもの学校生活について

1 子どもの学校生活についての不安や悩み

中学生保護者

子どもの学校生活についての不安や悩みは、「子どもの学力について」が 38.9%、「学校の授業を補うための学習塾などの費用のこと」が 28.9%となっています。

図表 26 (複数回答、上位 10 項目および「特にない」)



中学生本人・青少年調査の結果

1 回答者と家族の状況について

1 回答者と家族の状況

中学生本人

青少年

きょうだいの数 中学生は「一人っ子」が25.8%、きょうだいがいる人のうち「2人」が63.4%
 青少年は「一人っ子」が22.1%、きょうだいがいる人のうち「2人」が73.9%

2 日常生活や学校生活について

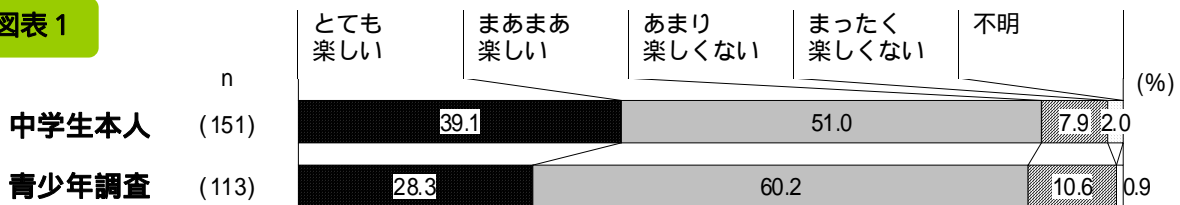
1 毎日の楽しさ

中学生本人

青少年

毎日の生活が「とても楽しい」は、中学生で39.1%、青少年で28.3%となっています。

図表1



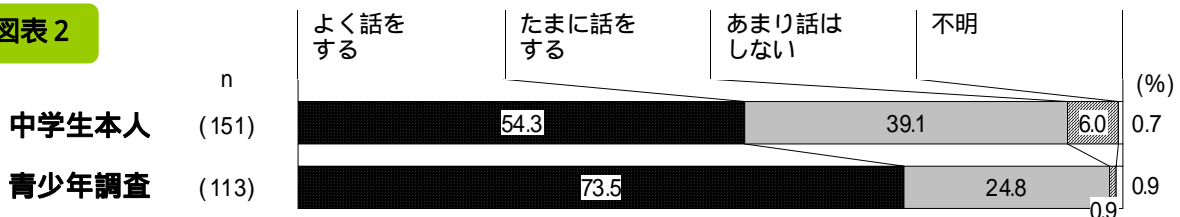
2 家族との関わり

中学生本人

青少年

家族と「よく話をする」は中学生で54.3%、青少年では73.5%となっています。

図表2



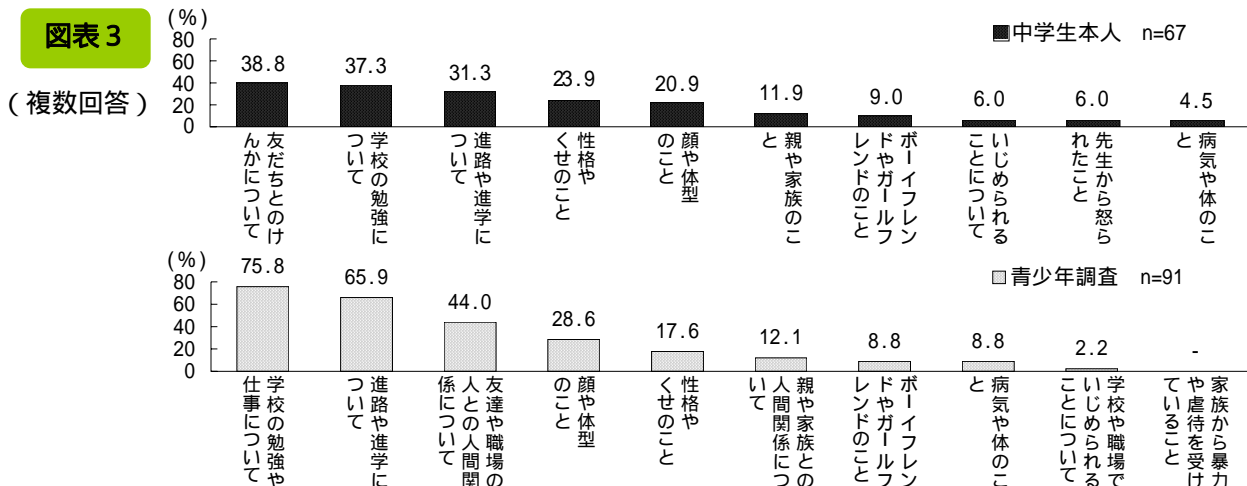
3 悩みごと

中学生本人

青少年

悩みごとは、中学生では「友だちとのけんかについて」(38.8%)、「学校の勉強について」(37.3%)、「進路や進学について」(31.3%)の順に、青少年では「学校の勉強や仕事について」(75.8%)、「進路や進学について」(65.9%)、「友達や職場の人との人間関係について」(44.0%)の順になっています。

図表3

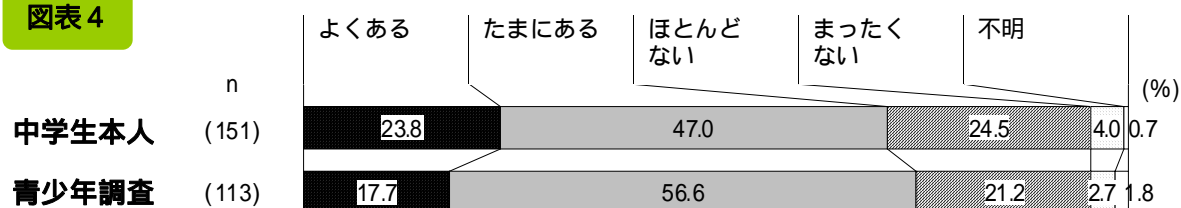


4 むしゃくしゃ、イライラすること

中学生本人 青少年

むしゃくしゃ、イライラすることが「よくある」は、中学生で 23.8%、青少年で 17.7% となっています。

図表 4



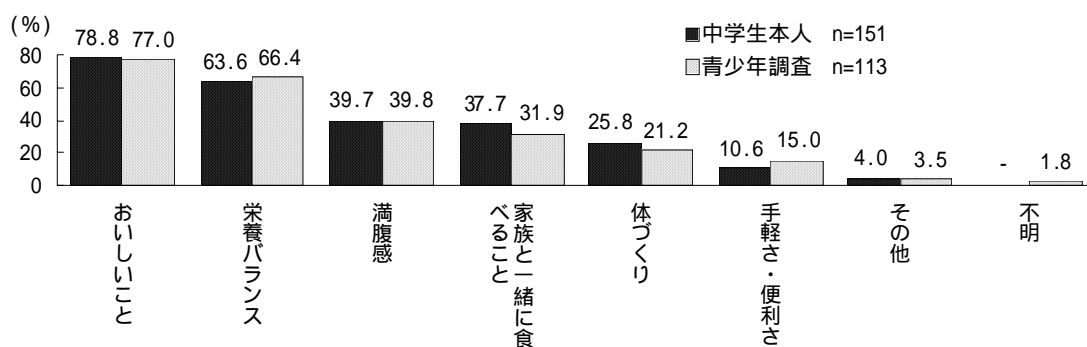
3 食事や健康などについて

1 食事で大切にしていること

中学生本人 青少年

食事で大切にしていることは、中学生、青少年ともに「おいしいこと」が7割台後半と最も多く、次に「栄養バランス」が続いています。

図表 5 (複数回答)



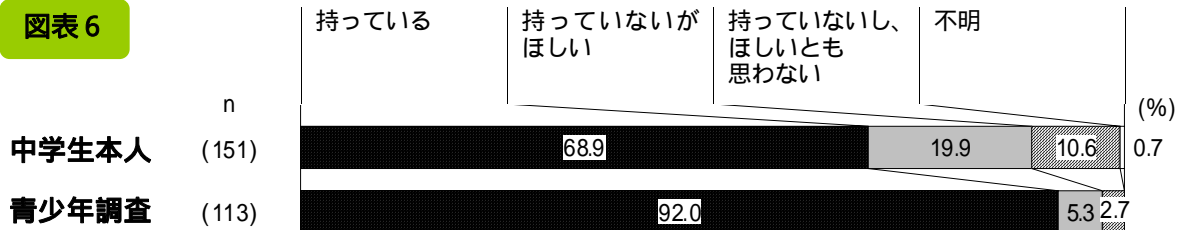
4 コミュニケーションツールについて

1 専用携帯電話の所有状況

中学生本人 青少年

専用携帯電話を「持っている」は、中学生では 68.9%、青少年では 92.0%となっています。

図表 6

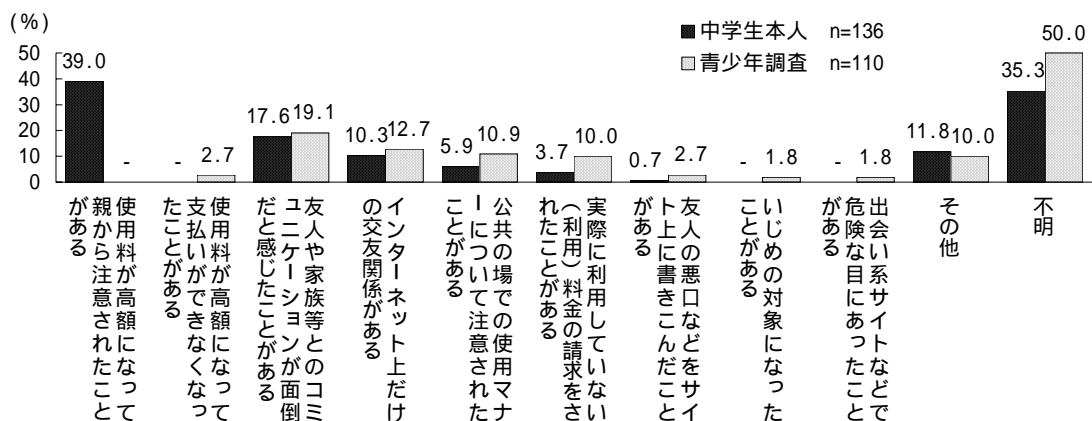


2 携帯電話やパソコンの使用について困ったこと

中学生本人 青少年

携帯電話やパソコンの使用について困ったことは、中学生では「使用料が高額になって親から注意されたことがある」が 39.0%で最も多くなっています。「友人や家族等とのコミュニケーションが面倒だと感じたことがある」は中学生で 17.6%、青少年で 19.1%となっています。

図表 7 (複数回答)



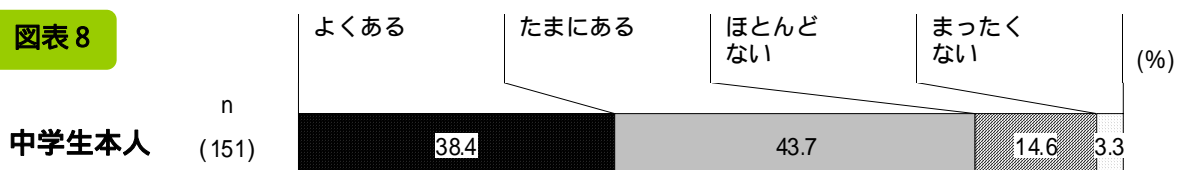
5 地域との関わりについて

1 近所付き合いの状況

中学生本人

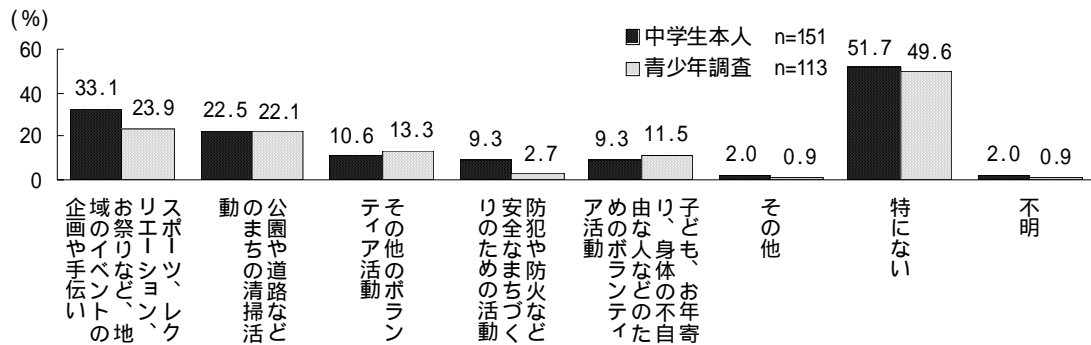
近所付き合いは、「よくある」が 38.4%、「たまにある」が 43.7%となっています。

図表 8



地域活動の参加経験は、中学生、青少年ともに「スポーツ、レクリエーション、お祭りなど、地域のイベントの企画や手伝い」と「公園や道路などのまちの清掃活動」が多くなっています。

図表9 (複数回答)



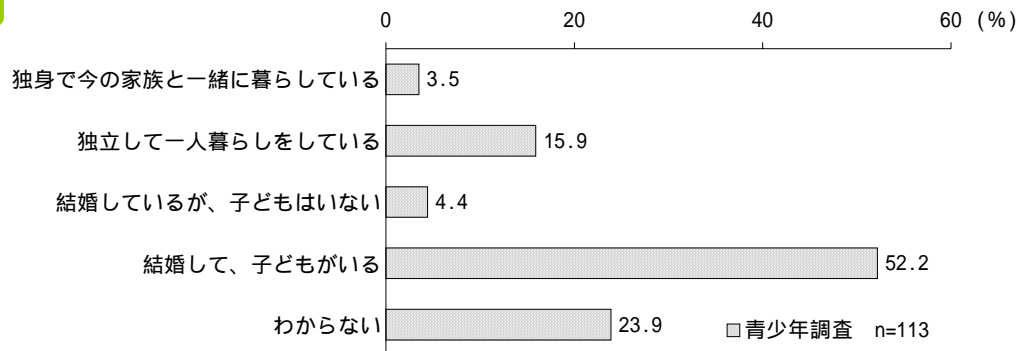
6 結婚や子育てについて

1 20年後の家族について

青少年

20年後の家族については、「結婚して、子どもがいる」が52.2%となっています。

図表10



少子社会に関する調査の結果

1 回答者と家族の状況について

1 回答者と家族の状況

家族 一人暮らしは 36.5%、家族の人数は平均 2.3 人。
同居している家族は「父母」が 34.5%、兄弟姉妹が 22.1%、
夫または妻が 20.9%。

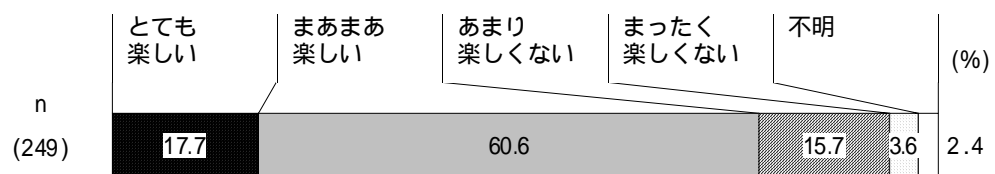
平日の主な活動 「学校に通っている」は 16.9%、「仕事をしている」は 75.9%。

2 日常生活について

1 毎日の楽しさ

毎日の生活が「とても楽しい」は 17.7%、「まあまあ楽しい」は 60.6%となっています。

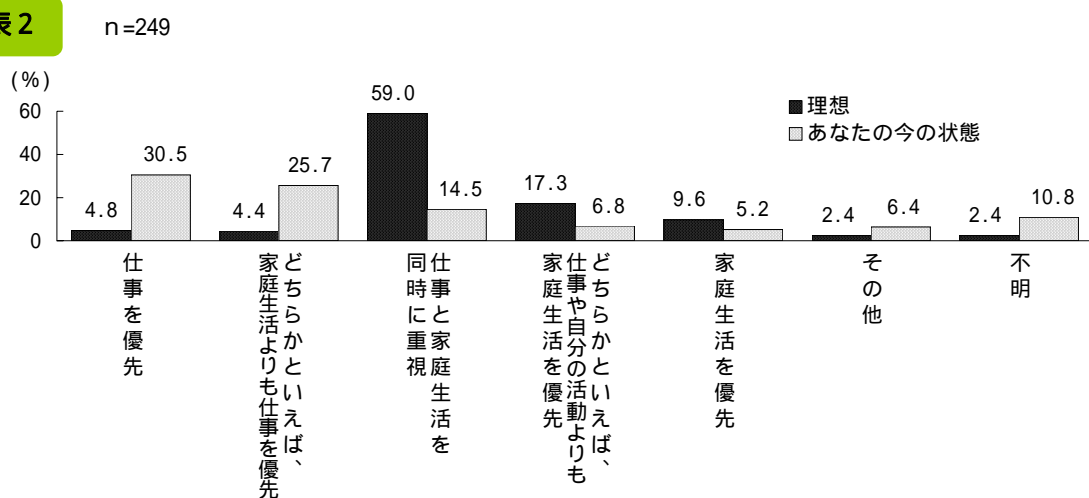
図表 1



2 仕事と生活のバランス (理想・今の状態)

仕事と生活のバランスについては、「仕事と家庭生活を同時に重視」したいという理想を描いている人が 59.0%と多いものの、現在の状態では「仕事を優先」(30.5%)または「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事を優先」(25.7%)としている人が多くなっています。

図表 2



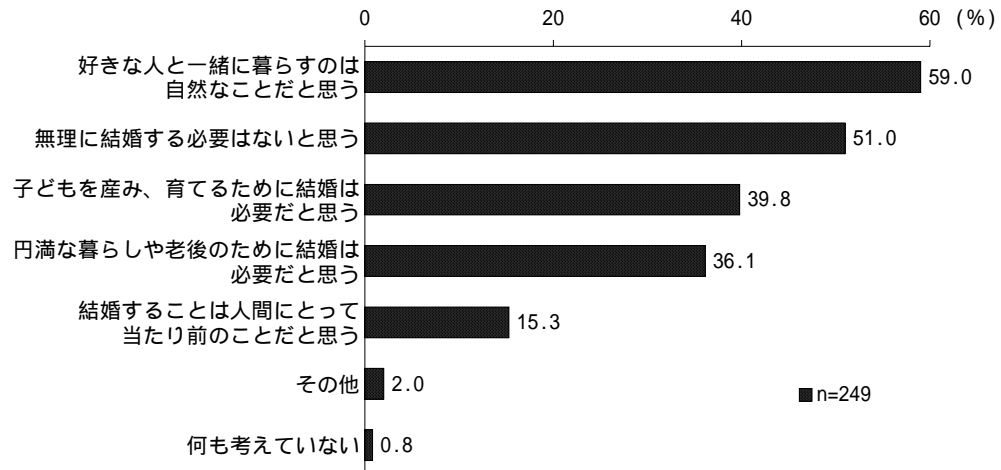
3 結婚や子育てについて

1 結婚についての考え方

結婚についての考え方は、「好きな人と一緒に暮らすのは自然なことだと思う」が59.0%、「無理に結婚する必要はないと思う」が51.0%の順に多くなっています。

図表3

(複数回答)



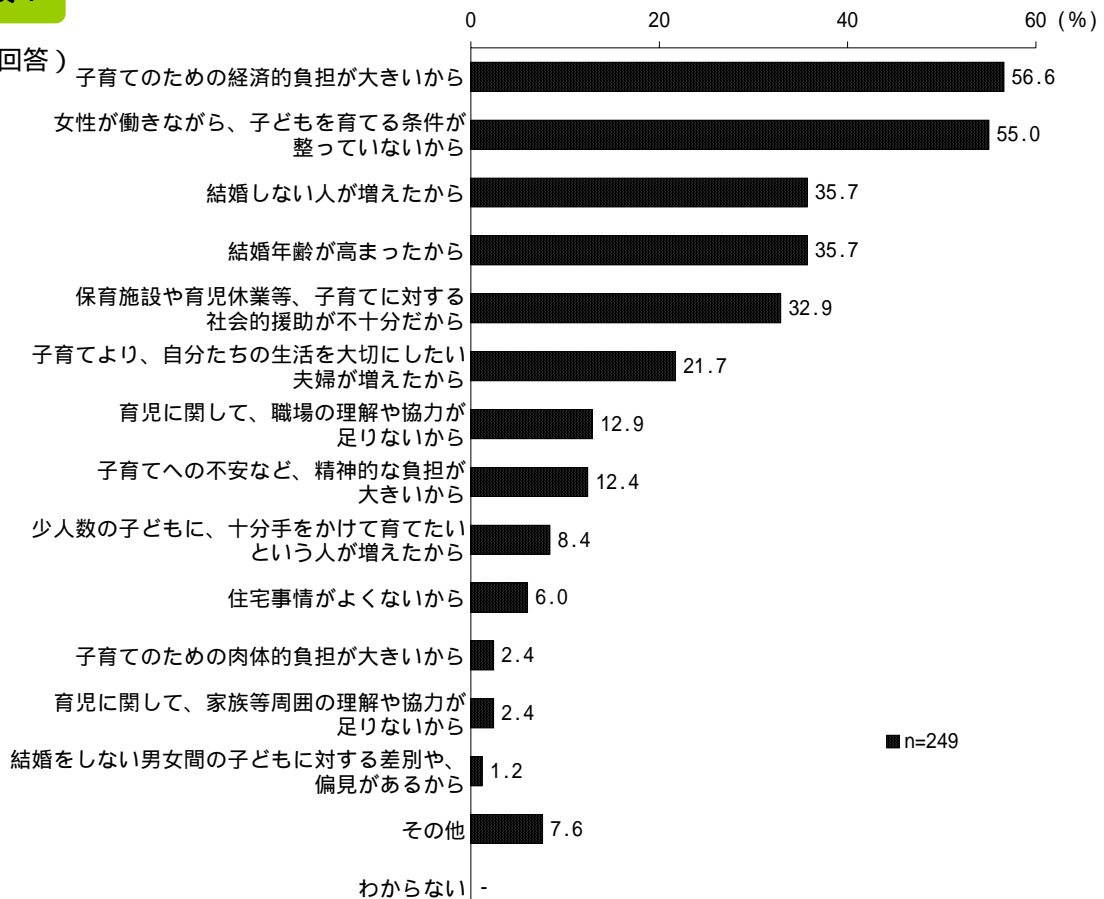
4 少子化について

1 少子化の原因

少子化の原因は、「子育てのための経済的負担が大きいから」(56.6%)と「女性が働きながら、子どもを育てる条件が整っていないから」(55.0%)が多くなっています。

図表4

(複数回答)

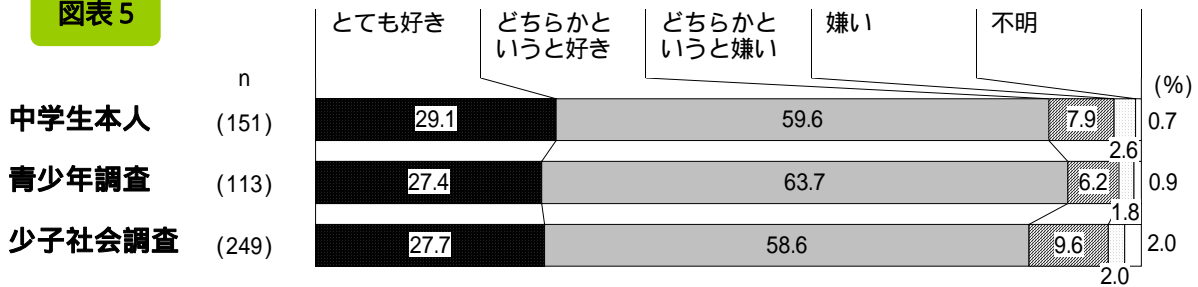


5 新宿区について

1 新宿区への愛着度

新宿区への愛着度は、新宿区への愛着度は、「とても好き」は中学生本人で 29.1%、青少年調査で 27.4%、少子社会に関する調査で 27.7%となっています。

図表 5



この印刷物は、業務委託により 2500 部印刷製本しています。その経費として 1 部あたり 80 円（税別）がかかっています。ただし、編集時の人件費等は含んでいません。

新宿区次世代育成支援に関する調査報告書（概要版）

発行年月 平成 21 年 3 月
 編集・発行 新宿区子ども家庭部子ども家庭課
 〒160 - 8484
 東京都新宿区歌舞伎町一丁目 4 番 1 号
 電話 03 (5273) 4260

調査委託 (株)サーベイリサーチセンター

印刷物作成番号

2008-8-3001



古紙パルプ配合率70%
 白色度70%再生紙を使用しています

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。

本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。